

弟子屈中学校女子テニス部 全道優勝目指して出場!



昨年のリベンジに燃える選手たち

トテニス研修大会団体戦に選ばれました。

大会には、北海道選抜チームや夏の中学校体育大会で上位入賞を果たした岩見沢光陵中学校、鶴川中学校などの全道屈指の強豪チームが出場し、チーム対抗による団体戦での優勝を目指します。

大会を前に、主将の阪口あいかさん(2年)は「去年の大会では準優勝だったので、今年は一生懸命練習しました。練習の成果を信じて全力でプレーし、全道優勝を目指します」と、今大会での目標を語ってくれました。

みんなの活躍を紹介!

□全道大会結果(敬称略)
◎第7回Jヴィレッジなでしこカップ(2月11日から福島県)▼釧路

弟子屈中学校女子テニス部が3月13日に新十津川町で上位入賞を果たした。練習の成果を信じて全力でプレーし、全道優勝を目指します。

◎全道大会結果(敬称略)
◎第11回全日本中学生バドミントン選手権大会(2月5日から釧路市)▼男子ダブルスの部/二本松椋太、今井玄(以上川湯中2年)1回戦敗退▼松本将輝、吉田直貴(以上弟子屈高2年)2回戦敗退/松田啓助、吉田実(以上同1年)1回戦敗退▼女子ダブルスの部/前川千夏、及川莉音(以上同2年)1回戦敗退▼男子シングルの部/今井玄、2回戦敗退▼二本松拓哉(弟子屈高2年)2回戦敗退▼松田啓助、2回戦敗退

◎全道大会出場(敬称略)
平成22年度北海道選抜中学生ソフトテニス研修大会団体戦(3月13日に新十津川町)弟子屈中学校女子テニス部▼団体戦の部/阪口あいか、松橋わか、鈴木美樹、岡田春弥(以上2年)、佐藤美咲、藤江弥生、杉山明日香、辻早織(以上1年)

第48回周湖氷探勝スキーツアー

▼期日/3月13日(日)
▼コース/摩周湖第1展望台〜摩周湖ユースホステル横
▼集合/公民館前8時20分
▼受け付け/8時20分〜8時30分
▼行きのバス出発/8時30分
▼開会式/9時10分(摩周湖第1展望台)
▼スタート/9時30分
▼コース/経験者10名、初心者6名
▼帰りのバス出発/11時30分
▼終了/正午(休憩、入浴)
▼参加料/大人1千500円

中学生以下1千円

▼募集人員/先着80人
▼申込期限/3月8日(火)
▼その他
①歩くスキーの経験を要します。
②小学生以下の方は保護者同伴とします。
③当日の事故については、傷害保険以外の補償は行いません。
④悪天候により、主催者の判断で日程やコースなどを変更することがあります。
⑤昼食は各自ご用意ください。
□申し込み・問い合わせ先/弟子屈町スキー協会事務局(小林武) ☎482-2191(内線432)まで。

町立小・中学校体育館利用者募集します

町教育委員会では、学校教育活動に支障のない場合、町内の小・中学校の体育館を、一般のスポーツ団体に開放しています。平成23年度に体育館の利用を希望される団体の登録受け付けを開始します。利用の概要は次のとおりです。

▼事業名/学校施設開放事業
▼開放日/平日
▼時間/19時〜21時
▼協力金/大人1人1回160円
▼登録可能な団体/10人以上で構成された団体
▼登録締め切り日/3月18日(金)
□申し込み・問い合わせ先/町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。

▼保険対象期間/平成23年4月1日〜平成24年3月31日
▼保険料/一般的な保険料は、高校生以上1千600円、中学生以下600円(保険料は、種目や活動内容などにより異なります)
□申し込み・問い合わせ先/町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。



独特の話し方で受講者を引き付ける渡辺さん

星空セミナーを開催 てしかがえこまち推進協議会

てしかがえこまち推進協議会会長 徳永町長のエゴツリズム推進部会(池田篤英部会長)は1月29日、摩周観光文化センターで「てしかが野外活動スキルアップ講習会」〜星空セミナー〜を開催しました。

このセミナーは、町民の皆さんが星空観察力を高め、魅力あるフィールドをPRして、こうと開催されたもので、町内外から約20人が参加しました。

講師は、これまで800個以上の小惑星を発見しているアマチュア天文家で北海道星

星空ガイドで観光振興

星小惑星会議代表の渡辺和郎さんと、町内の星空ガイドの第一人者で株式会社ツトリズムてしかが代表取締役の白石悠浩さん。

第一部では白石さんが「星空観察ツアー『摩周湖星紀行』の生い立ち」と題し、町内でのガイドツアーの歴史や現状について詳しく解説し、全国で星空観察ツアーが人気を博している現状を話しました。

第二部は渡辺さんが「星を100倍楽しむ方法」をテーマに講演しました。渡辺さんは、天体望遠鏡の選び方や光の速度の求め方などについて解説。さらに小惑星ハンターとして「見つけた惑星に摩周などの名前を付けてきた。最近、飛躍的に小惑星が発見されているが、これはCCDカメラが一般的に普及してきたから」と、現在、約25万個が発見されている小惑星の発見の歴史についても話しました。

主催者では「これを機に星空ガイドを増やし、観光振興につなげると同時に、町ぐるみでの取り組みにつなげていきたい」と期待を寄せていました。

札幌国際大学生15人が町内でフィールドワーク

札幌国際大学の観光経済学科(市岡浩子教授ゼミ)の学生15人が、2月5日から7日にかけて、てしかがえこまち推進協議会の取り組みを視察しました。今回の視察は、地域観光振興組織の先進事例として、さまざまな取り組みを進めている同協議会の、多様な住民が関わる観光振興の進め方や、現場の生の声を聞きたいということで実現しました。

一行は2泊3日の日程で弟子屈町を訪れ、フィールドワークで現地資源調査を行いました。3月には「冬の滞在型ツアー」を提案することになっています。フィールドワークでは、地元弟子屈高校の協力により、生徒らがバスに同乗し、町内の観光資源を案内しました。

市岡教授は「観光での町づくりの現場を学ぶことで、観光資源や既存のプログラムを体験することで魅力を発見したい。その上で、学生が考える滞在型ツアーが提案できれば」と話していました。



えこまち推進協議会の合同部会を視察

プラットフォーム事業スタート

えこまち推進協議会 これまでの取り組みを振り返り

観光庁がモデル事業として着手している「観光地域づくりプラットフォームモデル事業」の第2回目の会合が2月6日、役場会議室で開催されました。

この事業は、来るべき着地型旅行時代に向けてのワンストップ窓口としての機能や、ツアーの企画・情報発信・地域の合意形成など多面的な取り組みができる組織の構築が期待されているもので、てしかがえこまち推進協議会がその推進組織として選ばれました。

1月に第1回目の会合が持たれ、今後のモデル事業の取り組みのスケジュールの確認が行われ、今回は2回目の会合です。

会合では、てしかがえこまち推進協議会を構成する各専門部会から、これまでの活動に關する振り返りや、今後の目標設定について報告があり、各構成団体からは同協議会へ対する意見などが出されました。

観光カリスマでアドバイザーの山田桂郎さんは「今回の事業では、3年間取り組んできたことをしっかりと振り返ることにより、今後の取り組みをより明確にしなければならぬ。『手段』『目標化』しないように気をつけなければ」と話していました。

弟子屈町インバウンド対策事業の補助交付先募集を延長

町では2月15日までの間「インバウンド対策事業」への補助金交付先を募集していましたが、まだ、予算額に達していないため、年度内の募集を3月15日(火)まで延長することになりました。これからインバウンドへの受け入れ対策をお考えの方は、ぜひ、ご活用ください。

詳細については、町のホームページをご覧ください。
□町ホームページ <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>
□役場観光商工課観光係 ☎482-2940(課直通)